

2013年11月18日

国内事業戦略

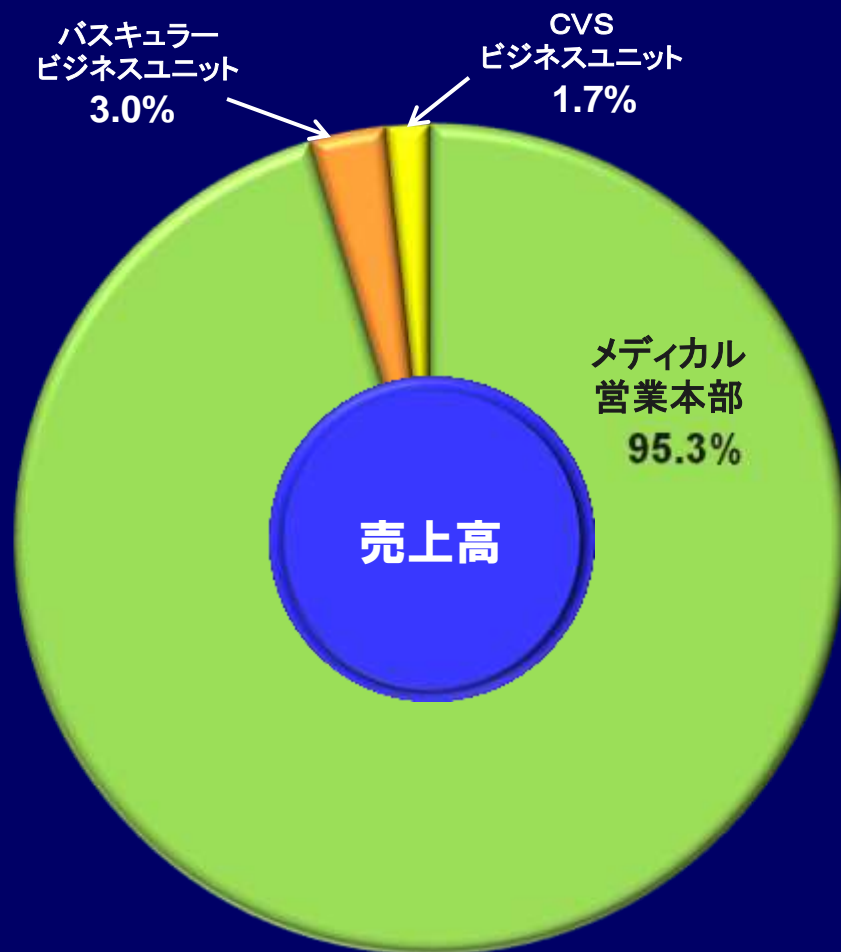
常務取締役 国内事業部長
吉岡 清貴

国内事業部 上半期実績 推移

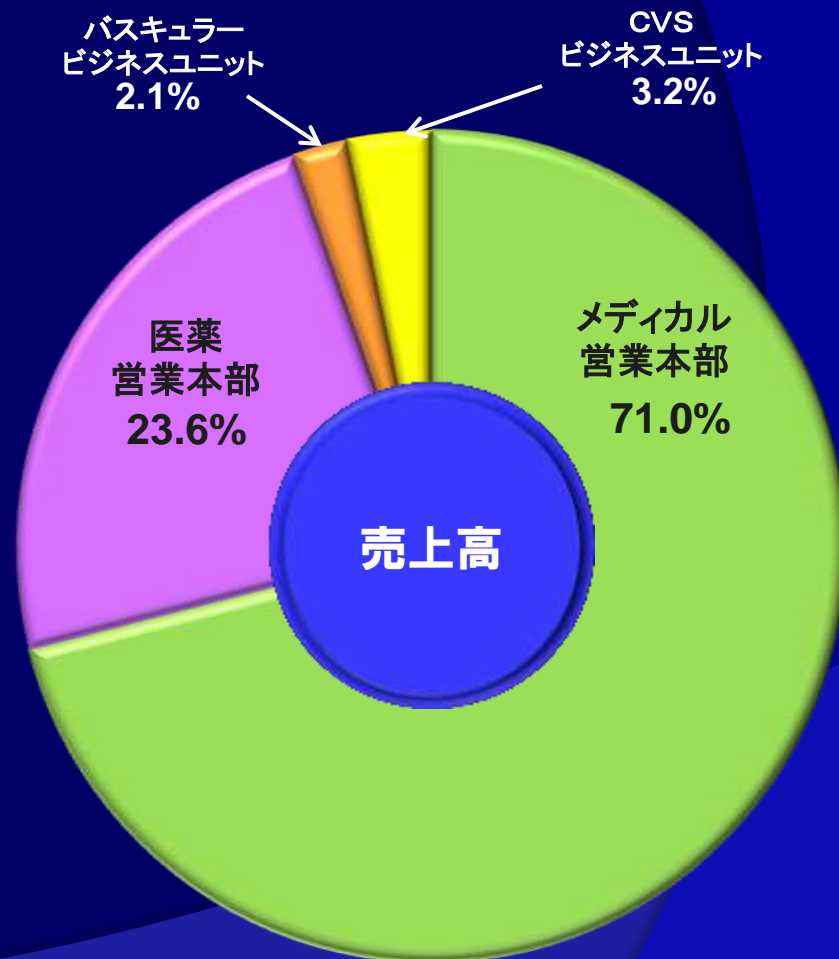


国内事業部 2013年上半期 営業部門別売上高割合

【2012年上半期】



【2013年上半期】



営業統合の目的（2013年4月統合 2014年3月完全統合予定）

医療機器とジェネリック医薬品の営業機能を統合することで、ニプロが有する医療機器・医薬品・硝子器材の技術力の昂揚・融合化を促進させ、顧客満足度の更なる向上、経営資源の効率化を推進し、以て総合メディカル企業としてのニプロブランドの国内競争優位を一層強化する

①顧客満足度の向上

医療現場のニーズを多角的に把握し、医療機器と医薬品の併給体制を整備するとともに、各事業部のノウハウを製品の開発・改良に総合的に利用することで、患者さんや医療従事者の満足度を向上致します。

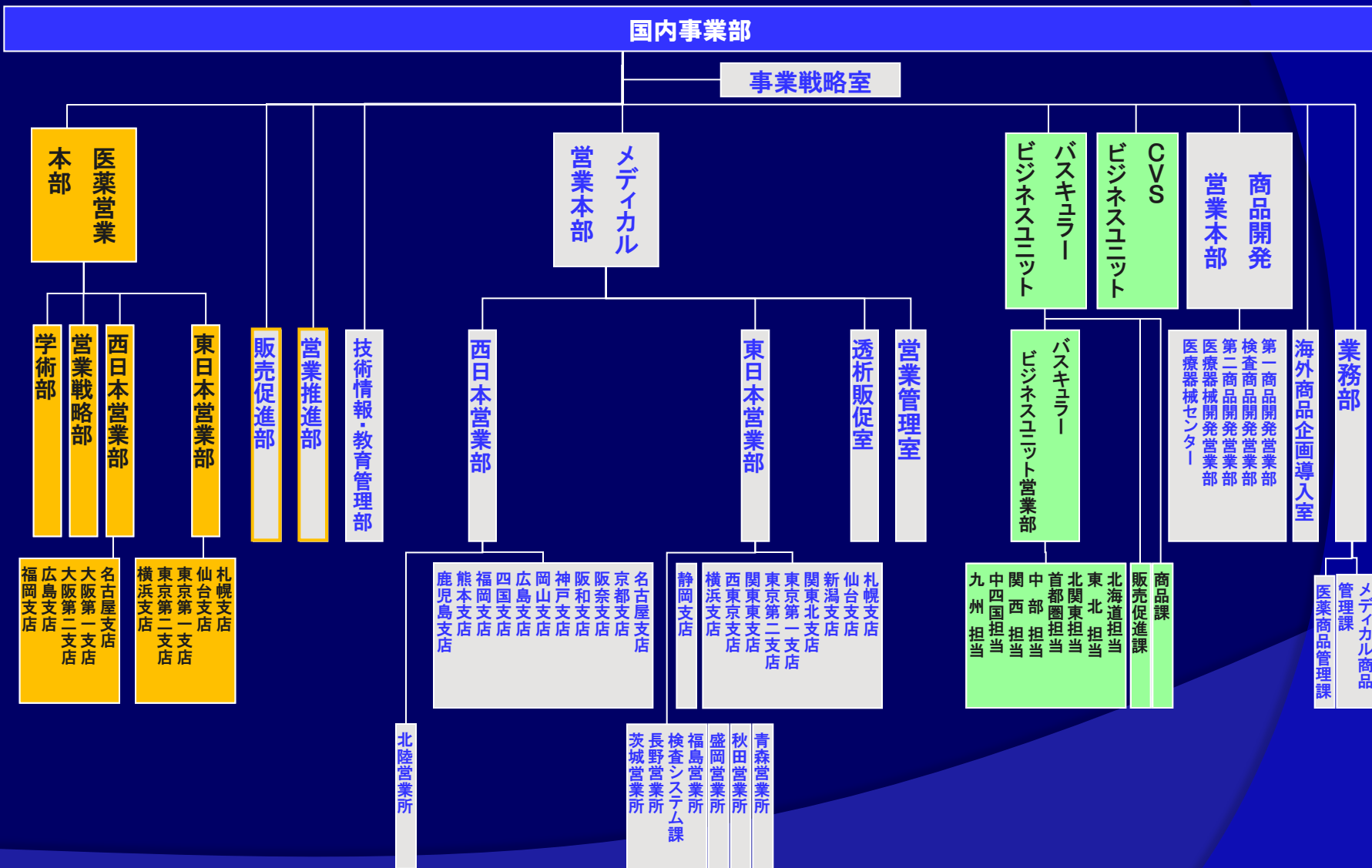
②経営資源の効率化

統合化によるスケールメリットを最大限活用することで、調達・物流・販売のサプライチェーン全般に渡る投下資源の効率的な運用を図って参ります。

③組織の活性化

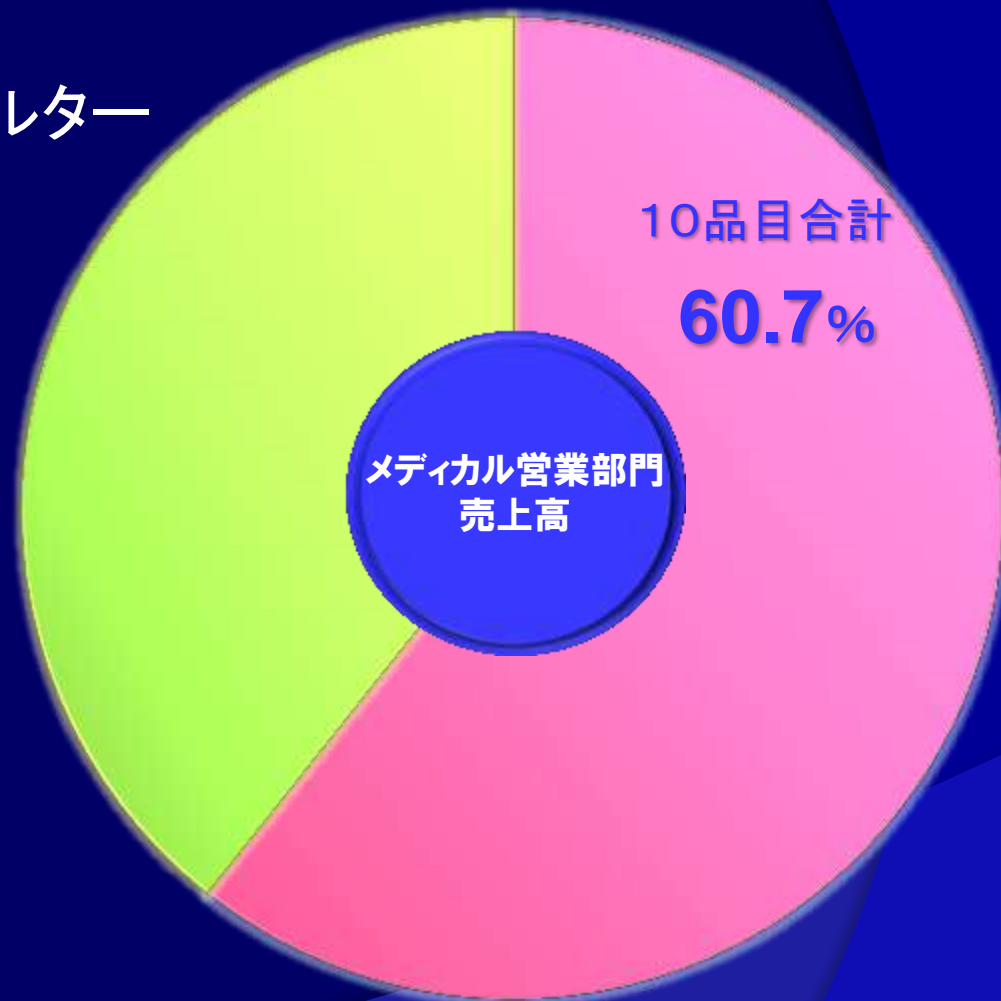
医療機器に加え医薬品も含め、MRの活動領域が拡大することより、組織の活性化を促進し、また医療機器・医薬品のトータルサービスを契機に新たなビジネス・チャンスを模索して参ります。

国内事業部 営業統合後組織

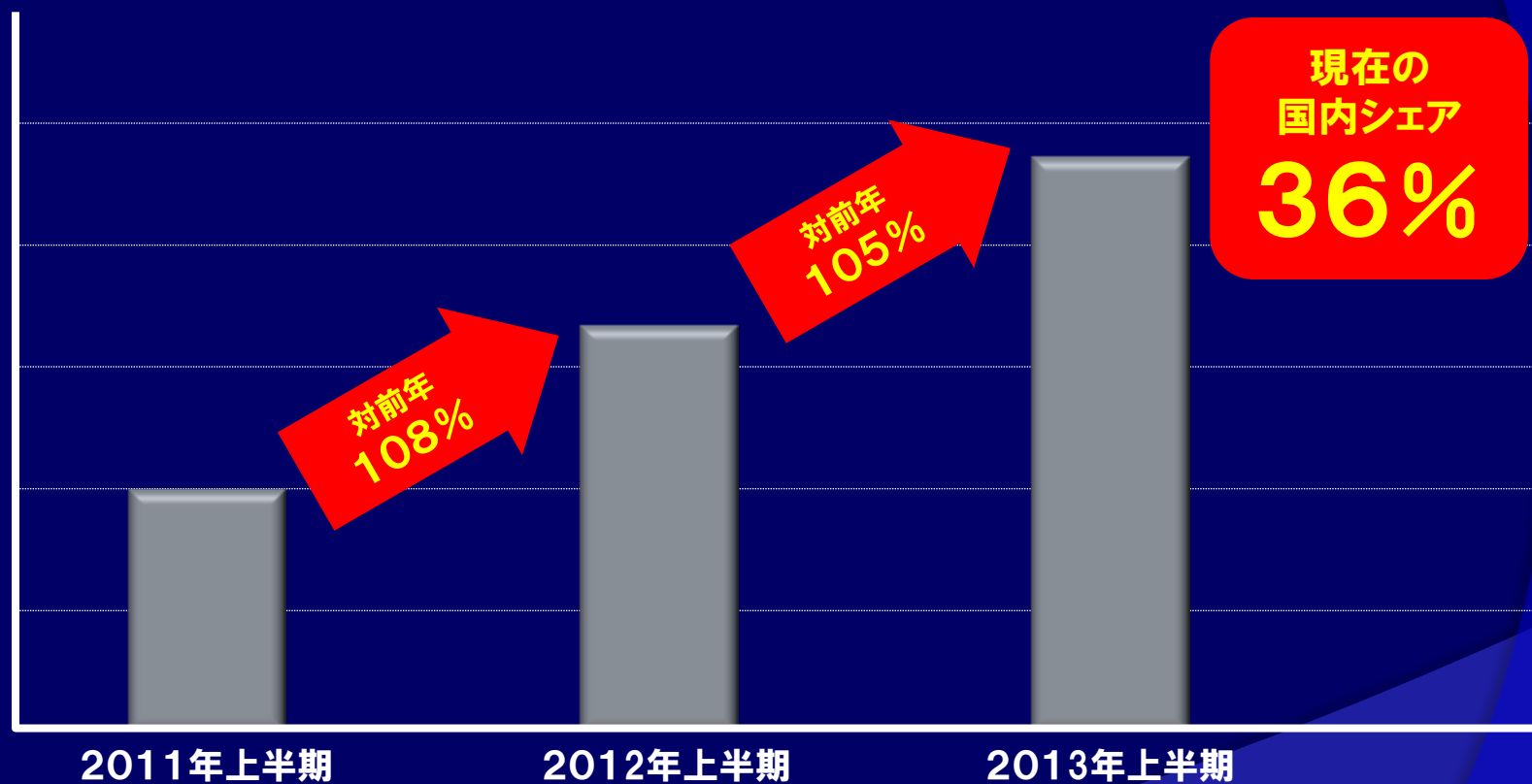


メディカル営業部門2013年上半期実績 売上高ベスト10

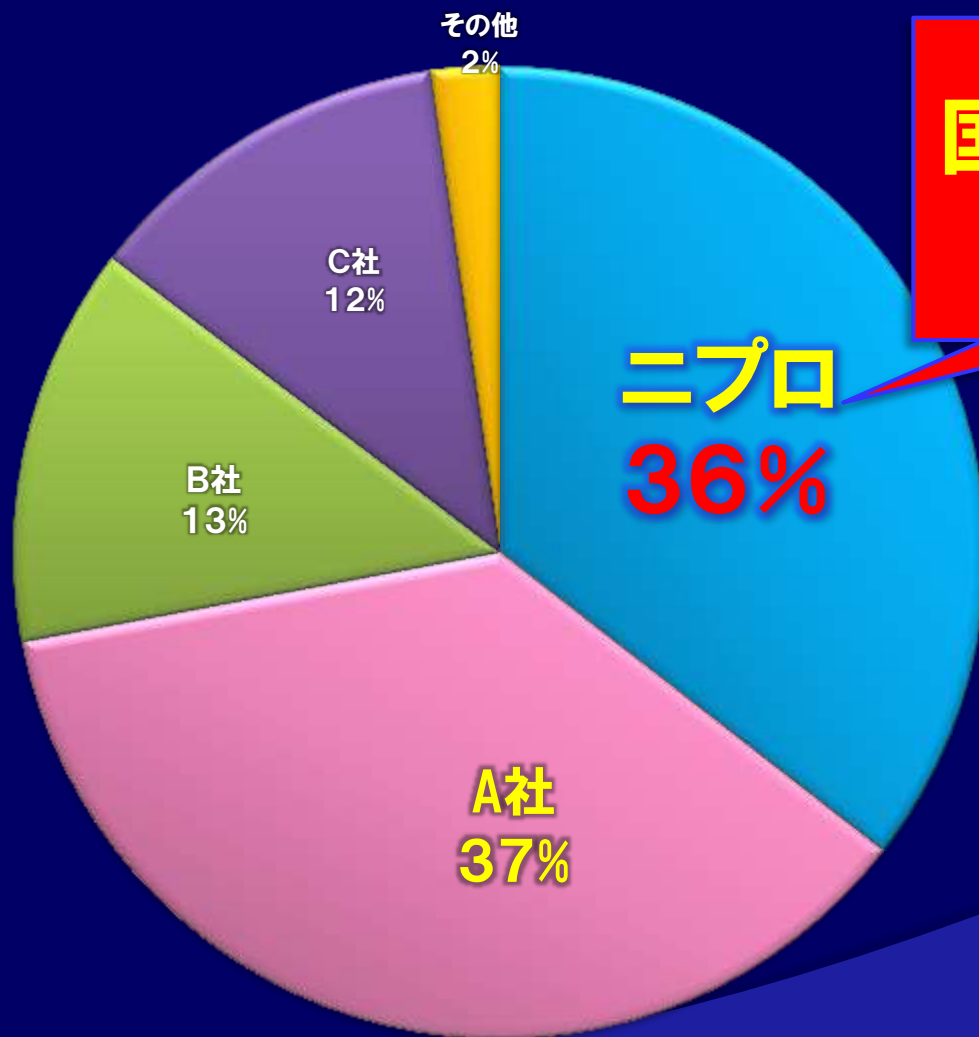
- 1位 ダイアライザ・HDFフィルター
- 2位 透析システム
- 3位 シリンジ
- 4位 粉末透析液(リンパック)
- 5位 輸液セット
- 6位 血液回路
- 7位 血糖測定器類
- 8位 翼状針(PSV)
- 9位 ヘパリンPFS
- 10位 HeartMate II



国内事業部ダイライザ・HDFフィルター上半期販売数量推移



日本のダイライザ市場販売数量(年間)



**国内シェア
2位**

**ニプロ
36%**

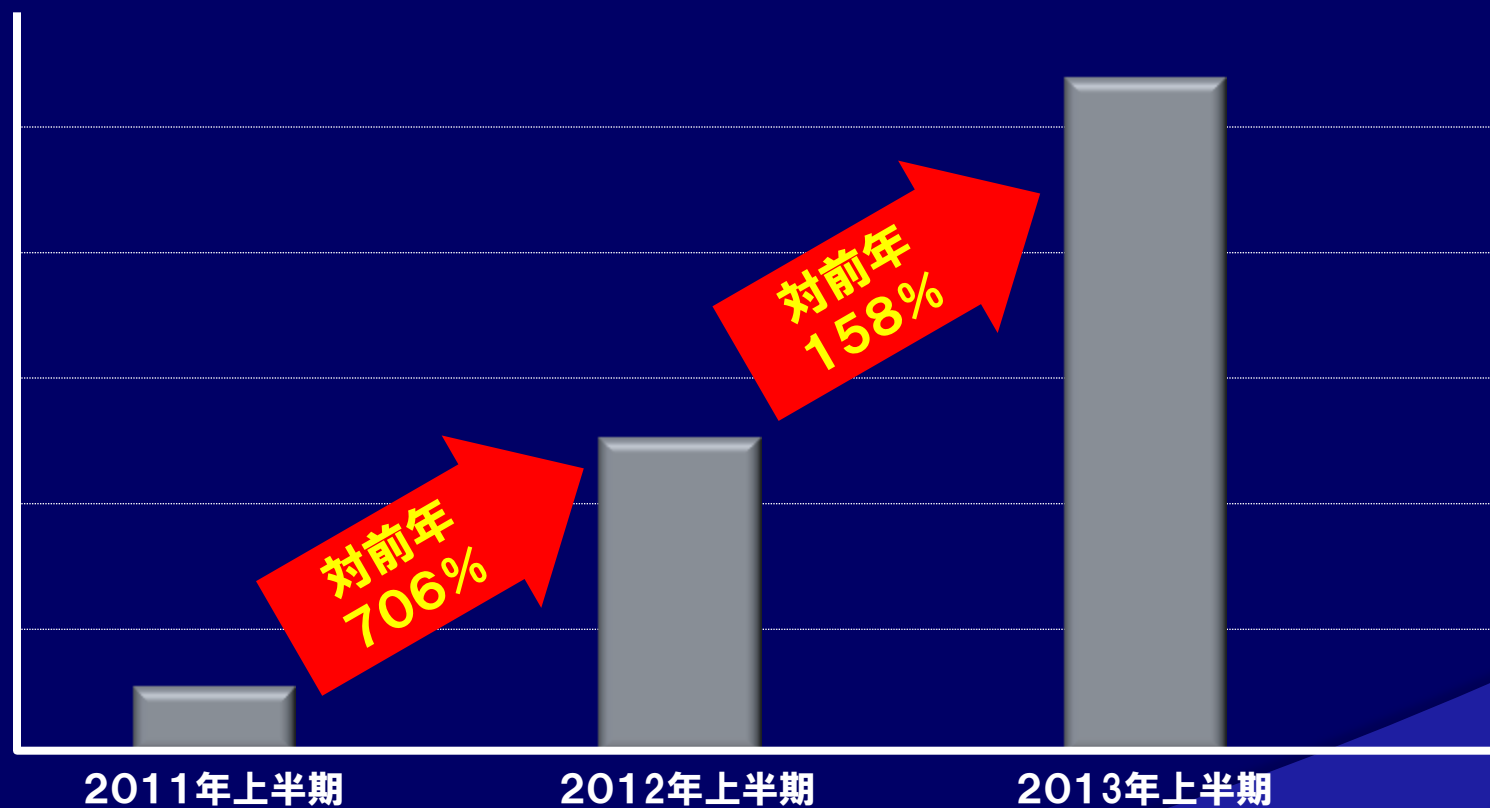
**A社
37%**

**B社
13%**

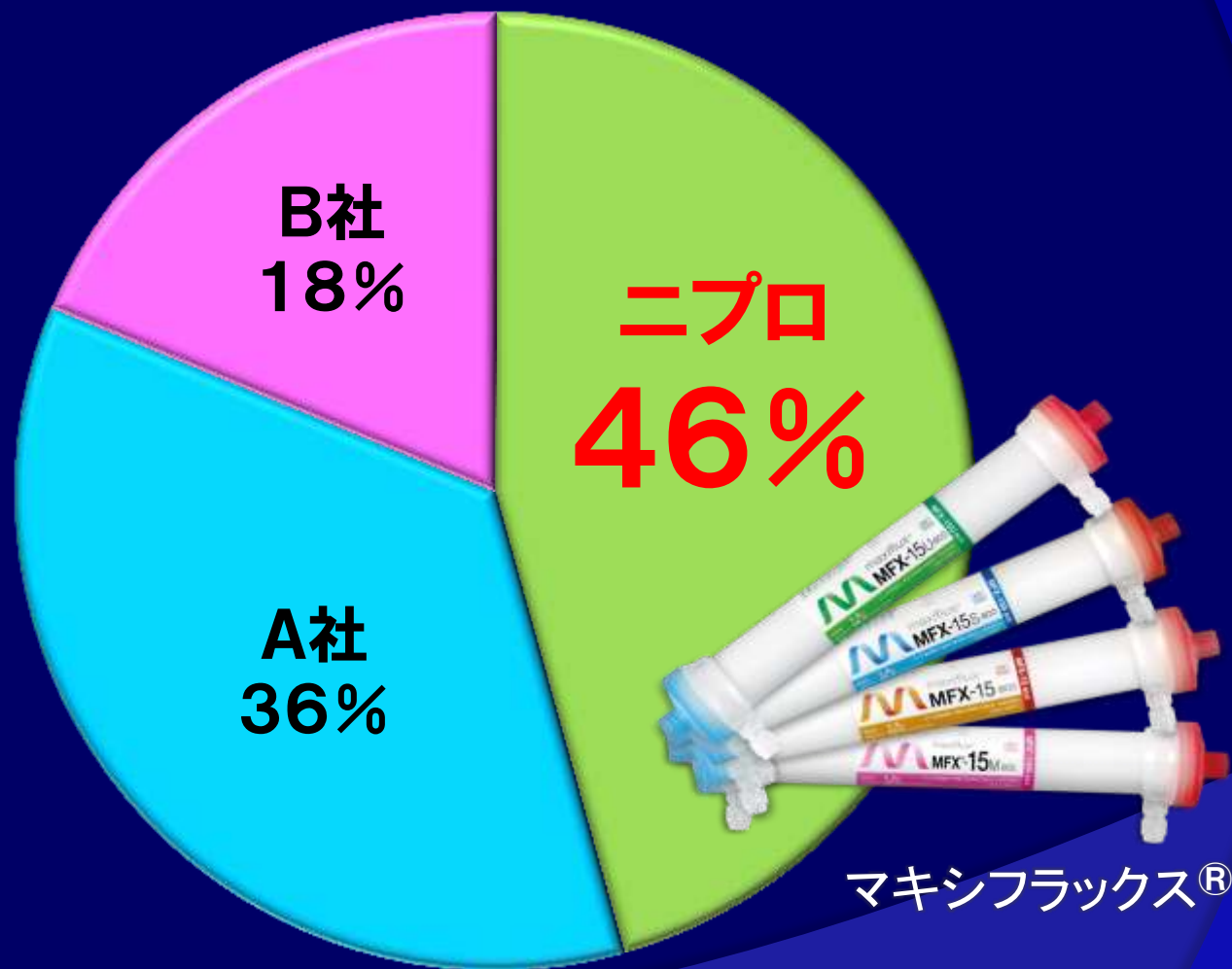
**C社
12%**

**その他
2%**

マキシフラックス HDFフィルター 上半期販売数量推移



HDFフィルタ(ヘモダイアフィルタ)シェア



植込型補助人工心臓HeartMate II

植込み型 HeartMate II
(2013.04償還価取得)



植込型補助人工心臓HeartMate IIの臨床実績

これまで世界中で15,000例以上の患者様に
HeartMate IIが装着実績。



HeartMate II[®]
Left Ventricular Assist System

6,000人以上の
患者様が今も継続中

1年以上: 3,838名
2年以上: 2,141名
3年以上: 1,117名
4年以上: 536名
5年以上: 294名
6年以上: 116名
7年以上: 22名

(2013年7月現在)

再生医療への取り組み 札幌医大との共同契約

札幌医科大学：脳梗塞の再生治療

再生医療で脳梗塞治療

札幌医科大学(札幌市) は、はじめると先生と、札幌市、患者本人の骨髄リハビリでゆるやかなにある幹細胞を使って、手足のまひや言語障害などの後遺症を改善する再生医療の臨床試験(治験)を行っています。治療を受ける患者の数は、約100名です。

治療の流れ

骨髄液を採取

幹細胞を分離

培養・品質検査

投与

札幌医大、臨床試験へ
骨髄の幹細胞を利用

脳は1年後の臨床試験結果を言及し、実用化に近づける。国内の再生医療としては、やはりこの治療法は、どの治療で実用化し、例は、脳梗塞の臨床試験は、脳梗塞の臨床試験に、脳梗塞の臨床試験の法初め、札幌医大の本部長教授は「今後の再生医療のモデルケースになる」と期待する。

治療は脳梗塞患者約110人を対象に約2年かけて実施する。まず患者の骨髄から幹細胞を採取し、培養されている幹細胞

後遺症改善に期待

多くの治療を受けて1年以上経過したうえで、患者本人に改善、脳梗塞治療から5カ月間、運動機能の改善や動作の有用性を評価する。

幹細胞は骨髄から抽出し、脳梗塞の臨床試験に使用される。脳梗塞で治療した際の脳梗塞の臨床試験は、本人の細胞を培養し、脳梗塞の臨床試験に使用される。脳梗塞の臨床試験は、脳梗塞の臨床試験に使用される。脳梗塞の臨床試験は、脳梗塞の臨床試験に使用される。

脳梗塞に対する再生医療の治験に参加ご希望の患者さんへ

【対象者】 ・アローム血行性脳梗塞の患者さん

【概要】 ・脳梗塞は、従来の脳梗塞治療でも後遺症が残ることが多い病気です。患者さんご自身の骨髄液から間葉系幹細胞を採取・培養後、静脈内に点滴投与することで、後遺症の軽減をみます。

【参加できる方】 ・脳梗塞発症から20日以内(1年以内)に脳梗塞である方
・初発のアローム血行性脳梗塞である方
・歩行や体を動かす動作には介助が必要である方、または、常に介護と見守りが必要とする方
・年齢が20歳以上65歳未満の方

【参加できない方】 ・意識状態が悪い方
・重症肺炎や梅毒などの感染症を患っている方
・貧血が強い方
・脳卒中などの再発のリスクが高い方
・脳梗塞以外の脳の疾患のある方、または、既往のある方
・産性腫瘍や重度の疾患の既往がある方
・ペニシリンアレルギーまたはシメツ、アナフィラキシー様症状などの既往のある方
・全身状態が不良な疾患(腎疾患、心疾患、肝障害)などがある方

【抽籤期間】 ・約54日(入院)

【募集期間】 ・平成25年2月1日~平成30年3月

【実施医療機関】 ・札幌医科大学附属病院

【診療科】 ・神経再生医療科

お問い合わせ
札幌医科大学附属病院 治験センター
伊豆山田
FAX: 011-616-3112
E-mail: chken-stroke@saqmed.ac.jp

【主治医の方へ】
適格基準を満たすと判断された場合は、下記の様式をご参考のうえ、e-mailもしくはFAXでご連絡下さい。



本望先生

医師主導型治験 phase III
最も再生医療で進んだ治験

ES/iPS細胞などを大量生産するバッグ型の自動培養装置



◎装置仕様

- ・培養操作
培地交換、継代培養、細胞観察
- ・培養能力
培養バッグ2袋/段×3段
(最大バッグ6袋:シャーレ75枚分)
- ・対象細胞
接着細胞全般
- ・装置サイズ(mm) W×D×H/重量
2371×800×1652mm/500kg以下

※経産省事業では仕様は変更となります。

運転時の様子



運転時内部の様子



操作パネル



Personal
Use

SMBG

ニプロケアファストC[®]

フルカラー液晶画面



薄型軽量モデル

幅 45 × 高さ 97 × 厚さ 13(mm) 重さ約52g

音声ガイド機能搭載



Personal
Use

SMBG

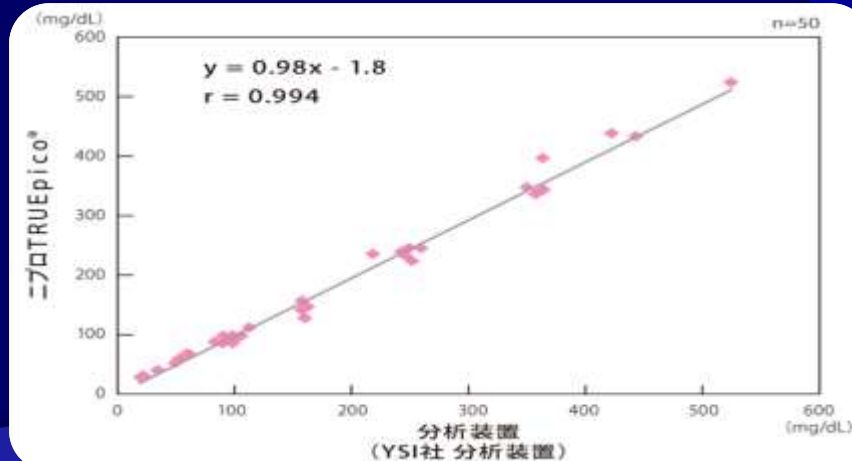
ニプロトウルーパーピコ®

機能を最小限に絞り込み小型・軽量

43×37×23mm 約17g



- 初期設定が不要で操作が簡単
- 良好な相関性



SeQuent[®] Please ドラッグ イルーティングバルーンカテーテル

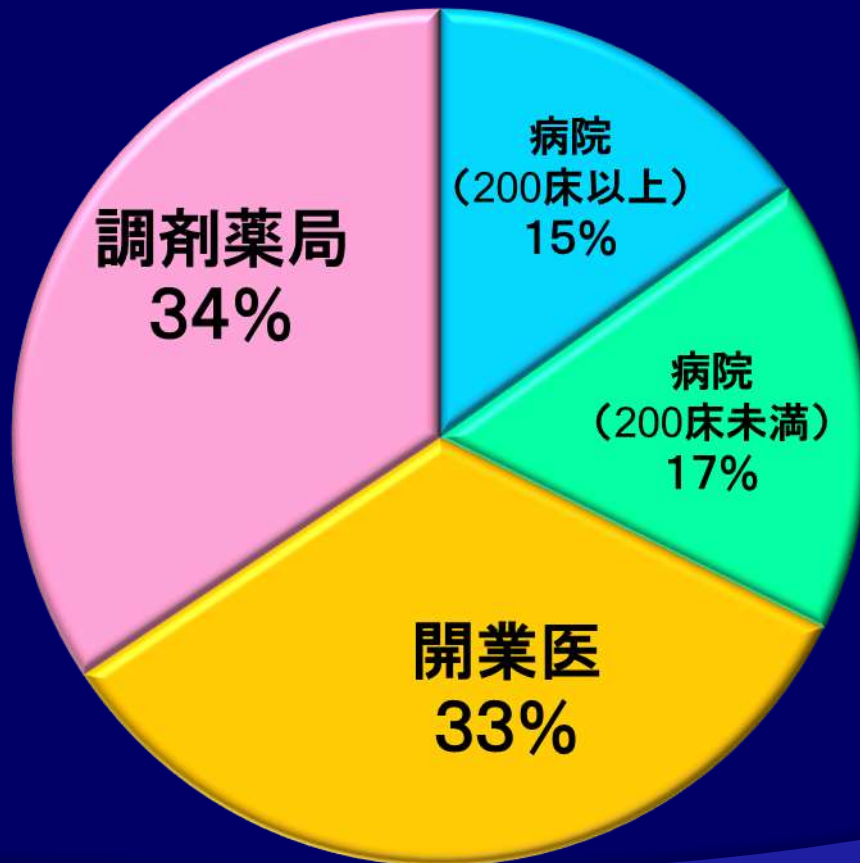


**(株)グッドマンと
ニプロ(株)による
協業販売**

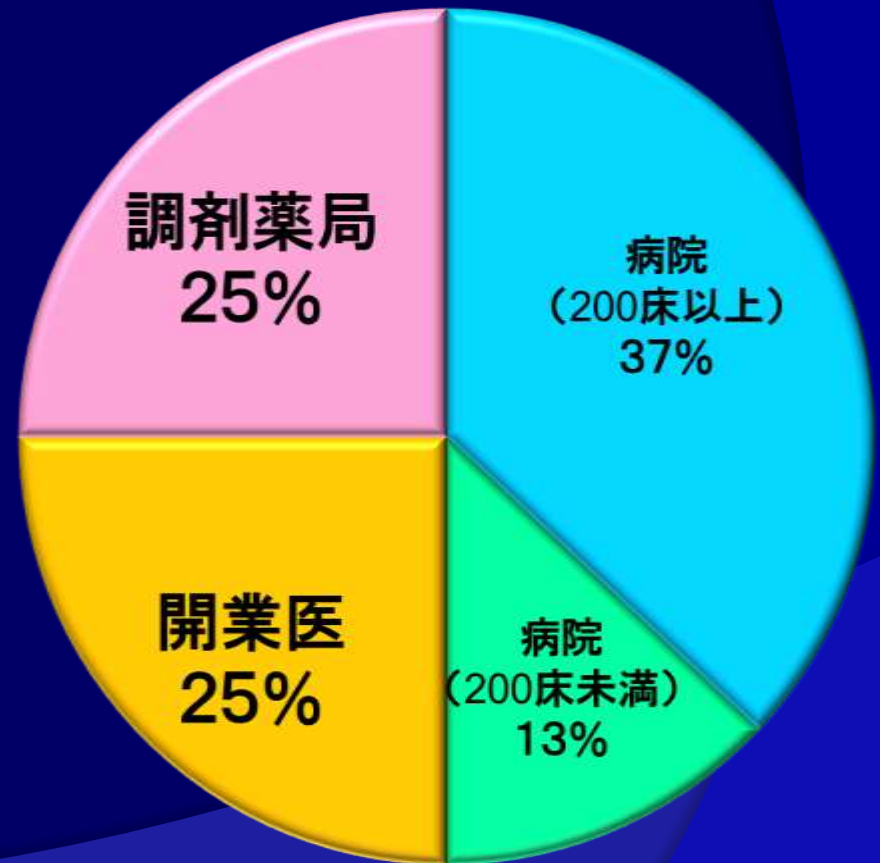
- 本邦初の薬剤溶出型バルーンカテーテル（冠動脈ステント内再狭窄用）
- 2013年7月 承認取得
- 2014年1月 保険償還価格取得予定／PMS開始予定
- PMS終了後 一斉販売開始予定

ジェネリック医薬品 顧客セグメント別売上構成比

GE市場構成比

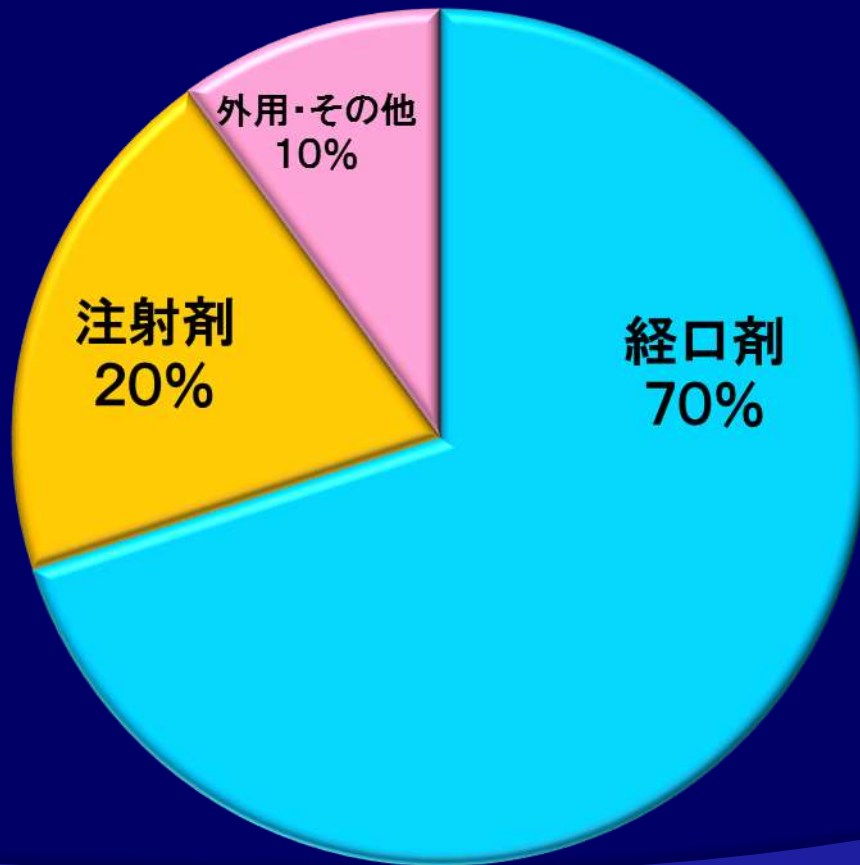


医薬営業本部構成比

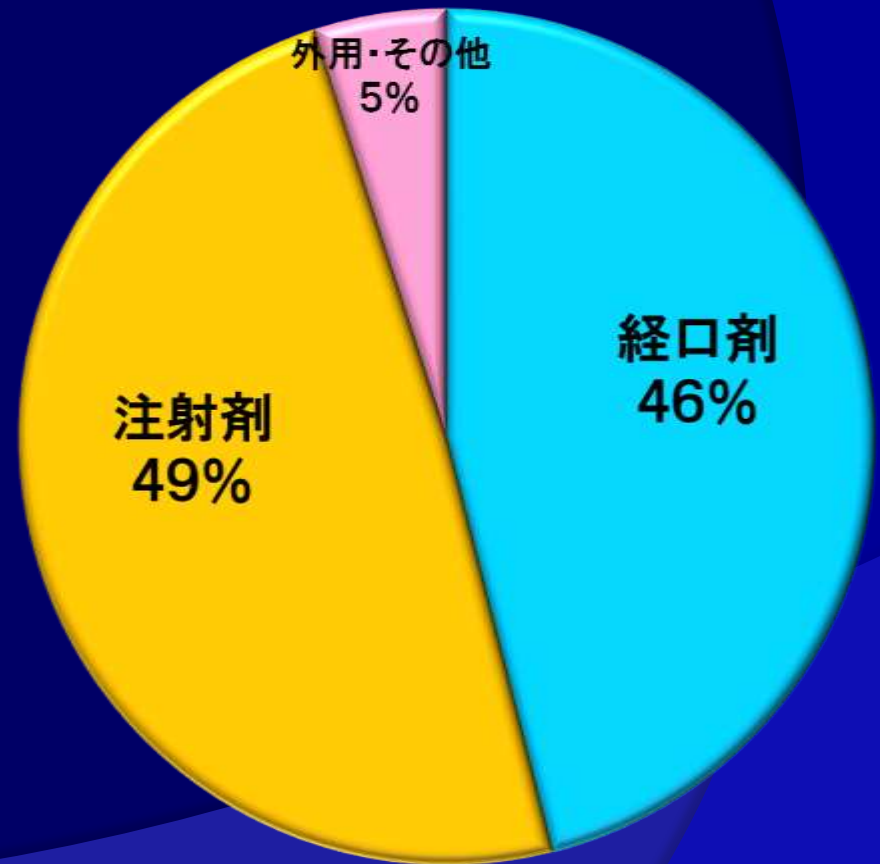


ジェネリック医薬品 剤形別売上構成比

GE市場構成比



医薬営業本部構成比



医薬営業本部 2013年度主要新発売品目

2013年6月度

- ・ロキソプロフェンNaテープ・パップ・ゲル「NP」 (ロキソニンテープ・パップ・ゲル)
- ・フェキソフェナジン錠・OD錠「NP」 (アレグラ錠)
- ・リセドロン酸Na錠「NP」 (ベネット錠・アクトネル錠)
- ・アゼルニジピン錠「NP」 (カルブロック錠)
- ・パクリタキセル注射液「NP」 (タキソール注射液)
- ・イリノテカン塩酸塩点滴静注液「NP」 (カンプト点滴静注・トポテシン点滴静注)

2013年12月度

- ・ピタバスタチンCa錠「NP」 (リバロ錠)
- ・パラシクロビル錠「NP」 (バルトレックス錠)
- ・アジスロマシシン錠「NP」 (ジスロマック錠)
- ・リュープロレリン酢酸塩注射用キット「NP」 (リュープリン注射用キット)

※2013年10月時点の情報による

医薬営業本部 来年度の主要新発売予定品目

2014年6月度

- ・バルサルタン錠「NP」 (ディオバン錠)
- ・ロサルタンK／ヒドロクロチアジド錠「NP」 (プレminent配合錠)
- ・イマチニブ錠「NP」 (グリベック錠)

2014年12月度

- ・カンデサルタンシレキセチル錠「NP」 (ブロプレス錠)
- ・タクロリムスカプセル「NP」 (プログラフ)
- ・レボフロキサシン錠「NP」(高用量) (クラビット錠)

報道機関各位

2013年10月22日

抗インフルエンザ治療薬ラピアクタ®のコ・プロモーション契約締結のお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）とニプロ株式会社（本社：大阪市北区、社長：佐野 嘉彦、以下「ニプロ㈱」）は、塩野義製薬が発売中の抗インフルエンザ治療薬・ラピアクタ®の国内におけるコ・プロモーション契約を締結しましたので、お知らせします。

ラピアクタ®は、塩野義製薬が2007年に米国BioCryst社から導入し、国内開発した抗インフルエンザ治療薬として、2010年1月から世界で初めて日本で販売を開始した点滴注射用製剤です。

点滴という確実な投与により迅速且つ優れた解熱効果を有し、より積極的な症状の回復を指向した外来患者様の第一選択薬としてインフルエンザ感染症の治療に貢献できると考えています。発売以来、ラピアクタの特徴である速く確実な解熱効果を数多くの患者様に実感していただけるよう努力してまいりましたが、今回、一般診療施設、特に小児科・耳鼻咽喉科での取り組みをより強化するために両社で協業し、インフルエンザ感染症に罹患された、さらに多くの患者様にお届けしたいと考えています。

両社はそれぞれ、ニプロ㈱が輸液、注射シリンジなどの医療機器や医薬品などの事業展開を行っている一方、塩野義製薬はフィニックス®やフロモックス®をはじめとする抗生物質の販売を通じて感染症領域における豊富な経験と有していることから、互いの強みを同じ領域で発揮することにより、ラピアクタ®のプロモーション効果を相乗的に高めることができると考えています。

塩野義製薬とニプロ㈱は、インフルエンザ感染症治療の新たな選択肢として、注射製剤であるラピアクタ®のコ・プロモーションを通じて、緊密な協働関係を築き、インフルエンザ治療に一層貢献して参ります。

なお、契約内容の詳細につきましては、非公表とさせていただきますが、本契約による両社の販売及び利益面での影響は軽微と考えております。

以上

抗インフルエンザウイルス剤
処方せん医薬品^(注1) | 薬価基準収載

ラピアクタ®

点滴静注液バッグ300mg・点滴静注液バイアル150mg

Rapiacta® ヘラミビル水和物注射液

注1) 注意-医師等の処方せんにより使用すること



株式会社グッドマン

株式取得日 3月15日

設立:昭和50年 資本金:87億3千8百万円

従業員数470名(連結) (平成25年3月末現在)

SeQuent® Please

薬剤溶出型
バルーンカテーテル

(株)グッドマンとニプロ(株)に
よる協業販売



ラクソLAXA
PTCAバルーン
カテーテル



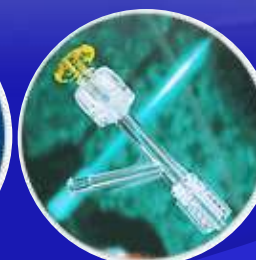
ラクソNSE
PTCAバルーン
カテーテル



グッドテック
アンギオ
カテーテル



グッドテックシース
イントロデューサー



O-KAY
Yコネクター

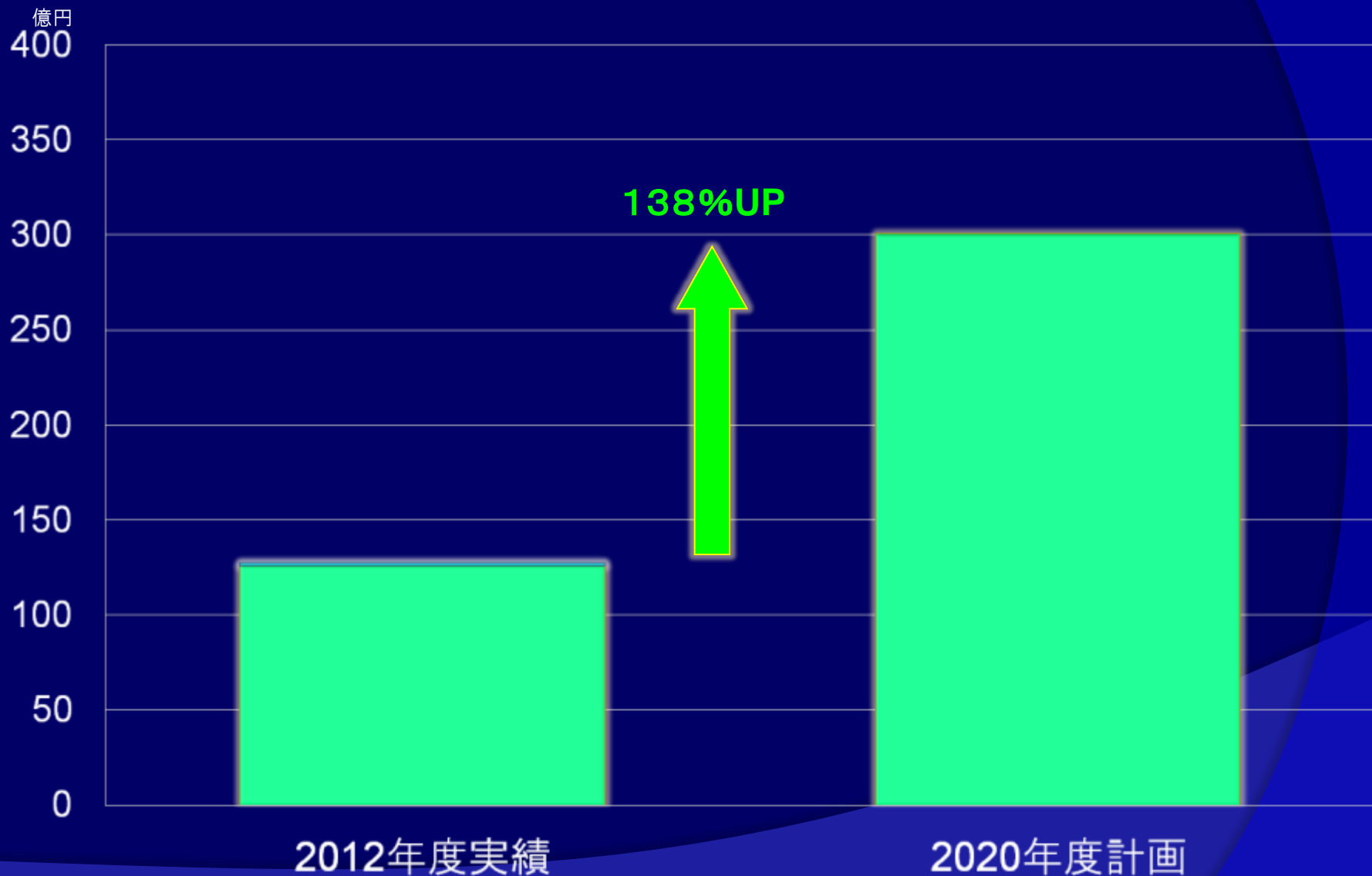


Thoratec
人工血管



Goodnet
DICOMネットワーク
システム

バスキューラー関連製品 中長期売上高計画



株式会社ニチホス

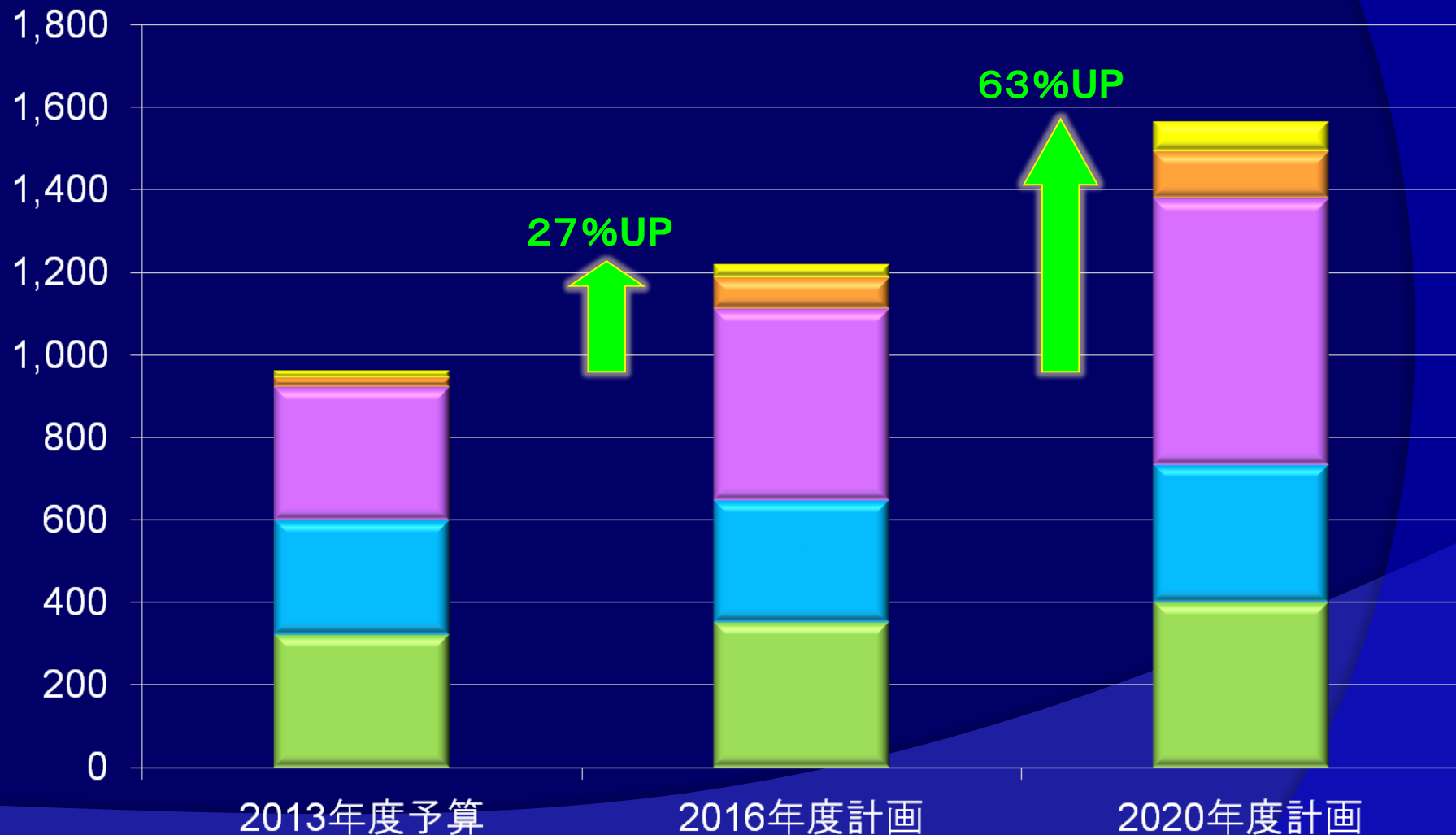
株式取得日 6月14日

株式会社ニチホスの概要 ※関西地方を中心に24店舗を展開

1. 名称	株式会社ニチホス
2. 所在地	大阪市北区豊崎3丁目20番10号
3. 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鎌田 勝熙 (かまたかつひろ)
4. 主要な事業内容	調剤薬局の経営、医薬品の販売等
5. 資本金	2億円
6. 設立年月日	平成4年8月5日

国内事業部 商品別中長期売上高計画

- 注射・輸液商品
検査商品
- ダイアライザ・血液回路等
透析器械
- 医療用医薬品
透析医薬品
- バスキュラー商品
- CVS商品



国内事業部 2020年度計画 商品別割合

【2020年度】

【2013年度】

